

レンズを使用する前に必ず添付文書をよく読み、
必要なときに読めるように保管してください。



**2023年10月(第5版)
*2020年11月(第4版)

機械器具 72 視力補正用レンズ

承認番号 22300BZX00094000

高度管理医療機器 再使用可能な視力補正用色付コンタクトレンズ 32803000

*2WEEKメニコン プレミオ *2WEEKメニコン プレミオ(乱視用) 2WEEKメニコン プレミオ(遠近両用/遠近両用乱視用) (ソフトコンタクトレンズ)

【警告】

- コンタクトレンズ(以下、レンズ)の装用により、角膜潰瘍、角膜炎(感染性角膜炎を含む)、角膜浸潤、角膜びらん等の角膜上皮障害、角膜浮腫、結膜炎(巨大乳頭結膜炎を含む)、虹彩炎、角膜血管新生等が発症する可能性及び角膜内皮細胞の減少を早める可能性があります。
レンズの装用による眼障害の中には、治療せずに放置すると失明につながるものがあります。
- 上記の眼障害を起こさないようにするためにも、レンズを使用する際は次のことを守ってください。
 - 装用時間を正しく守ること
レンズの装用時間には個人差があります。眼科医から指示された装用時間を守ってください。
 - 使用期限を守ること
このレンズは使用する期間が決まっています。眼科医の指示に従い、使用期間を超えないこと、定期的に新しいレンズと必ず交換してください。
 - 取扱い方法を守り正しく使用すること
レンズやケア用品の取扱い方法を誤ると眼障害につながります。レンズやケア用品(特にレンズケース)は清潔に保ち、正しい取扱い方法で使用してください。
 - 定期検査を受けること
自覚症状がなく調子よく装用していても眼やレンズにキズがついたり、眼障害が進行していることがあります。異常がなくても眼科医に指示された定期検査を必ず受けてください。
 - 異常を感じたら直ちに眼科を受診すること
レンズ装用前に眼や二や充血がないか、またレンズ装用後も異物感等がないか確認し、異常を感じたら、眼科を受診してください。
 - 破損等の不具合があるレンズは絶対に使用しないこと
装用前に、レンズに破損等の不具合がないか必ず確認してください。装用中にレンズの破損等による自覚症状が発生し、自覚症状が改善しない場合は眼科を受診してください。

【禁忌・禁止】

- 適用対象(患者): 次の人は使用しないこと
前眼部の急性及び亜急性炎症
眼感染症
ぶどう膜炎
角膜知覚低下
レンズ装用に問題となる程度のドライアイ及び涙器疾患
眼瞼異常
レンズ装用に影響を与える程度のアレルギー疾患
常時、乾燥した生活環境にいる人
粉塵、薬品等が眼に入りやすい生活環境にいる人
眼科医の指示に従うことができない人
レンズを適切に使用できない人
定期検査を受けられない人
レンズ装用に必要な衛生管理を行えない人
- 使用方法
自分のレンズを他人に渡したり他人のレンズを使用しないこと

【形状・構造及び原理等】

1. レンズの組成

- ソフトコンタクトレンズ分類: グループ I
- 構成モノマー: N,N-ジメチルアクリルアミド、ピロリドン系化合物、ケイ素含有メタクリレート系化合物、ケイ素含有アクリレート系化合物、エチレングリコールジメタクリレート
- 含水率: 40%
- 酸素透過係数: $129 \times 10^{-11} (\text{cm}^2/\text{sec}) \cdot (\text{mLO}_2/(\text{mL} \times \text{mmHg}))$
ISO18369-4に準拠
- 着色剤: フタロシアニン系着色剤

2. 保存液

保存液の主成分: 塩化ナトリウム、緩衝剤(リン酸系)

*3. 原理

- 近視用・遠視用レンズの場合
コンタクトレンズに付加された頂点屈折力により視力を補正する。
- 乱視用レンズの場合
コンタクトレンズに付加された頂点屈折力及び円柱屈折力、又は、円柱屈折力により視力を補正する。
- 遠近両用レンズの場合
コンタクトレンズに付加された頂点屈折力及び加入屈折力、又は、加入屈折力により視力を補正する。
- 遠近両用乱視用レンズの場合
コンタクトレンズに付加された頂点屈折力及び加入屈折力及び円柱屈折力、又は、加入屈折力及び円柱屈折力により視力を補正する。

【使用目的又は効果】

視力補正

【使用方法等】

終日装用、2週間交換、化学消毒

<使用方法等に関連する使用上の注意>

1. レンズ着脱

- レンズ取扱いの注意事項
 - 爪を短く切り、丸くなめらかにしてください。
 - レンズを取扱う前に必ず手を洗浄してください。
 - レンズを着脱するときは、爪を立てたり、指先が直接眼にふれないようにしてください。
- レンズの取り出し方
 - 開封時にアルミシールで手指を切らないように注意してください。
 - レンズをキズつけないように、爪を立てず指の腹でそっと容器から取り出します。
 - 装用前にレンズの左右、裏表を確認してください。
- レンズのつけ方
 - **1) 利き手の人さし指の先にレンズをのせます。
 - 乱視用レンズの場合、ガイドマークが黒眼の上で下方になるよう、ガイドマークを手前にしてください。
 - ▲マークがあるレンズでは、▲マークが(つける)眼の耳側の位置になるようにレンズをのせます。
 - 遠近両用乱視用レンズにも、ガイドマークがついていますが、これは装着状態を確認するためのものです。
 - **2) 鏡を見ながら利き手の中指で下まぶたを引き下げ、もう一方の手の人さし指で上まぶたをあげます。
- レンズをゆっくりと眼に近づけ、黒眼の上にそっとのせます。

- 4) レンズを黒眼にのせたら、眼をあけていた指をゆっくり離し、まばたきをゆっくりしてください。
- 5) 左右の見え方で、入れ違いがないかを確認してください。
- (4) レンズのはずし方
 - 1) いつも同じ眼からレンズをはずすようにします。
 - 2) 中指で下まぶたを引き上げます。
 - 3) そのままの状態で見指と人さし指でレンズの下方をつまみはずします。

2. 装用スケジュール

- (1) このレンズは最長 2 週間で交換する終日装用レンズです。レンズは起きている間に装用し、寝る前にははずしてください。
- (2) レンズの装用に慣れるまでのスケジュールは個人差があります。必ず眼科医の指示に従って、あなたにもっとも合ったスケジュールで慣らしてください。
[スケジュール例]

装用 日数	1 日目	2 日目	3 日目	4 日目	5 日目	6 日目 以降
装用 時間	8 時間	10 時間	12 時間	14 時間	16 時間	終日 装用

- (3) 装用を中断した場合
 - ・ 1 カ月未満の場合は、中断する前と同じ装用時間で装用を開始します。
 - ・ 1 カ月以上中断した場合は、眼科を受診してから装用を開始してください。

**3. レンズケア

ソフトコンタクトレンズは装用後の洗浄と消毒が不可欠です。消毒には、ソフトコンタクトレンズ用消毒剤（過酸化水素製剤等又はマルチパーパスソリューション（MPS））を用いてください。注意事項として、以下のことを守ってください。

- (1) ケア用品の使用に際しては、使用するケア用品の使用説明書や表示事項をよく読み、以下のことを守ってください。
 - ・ レンズを取扱う前に必ず手を洗浄してください。
 - ・ 消毒前に、レンズ両面を十分にこすり洗いをすることをおすすめします。
 - ・ レンズ装用前にすすぎをすることをおすすめします。
 - ・ マルチパーパスソリューション（MPS）は、開封後 1 カ月を目安に使用してください。
 - ・ 使用後の消毒液は、再利用しないでください。
 - ・ 消毒液は他の容器に入れ替えないでください。
- (2) レンズの汚れやすさには個人差があります。眼科医の指導に従いタンパク除去を行ってください。

**4. レンズケースの管理方法

- ・ レンズケースは定期的に新しいものと交換してください。
- ・ 使用後のレンズケースは中の消毒液を捨て、よく洗った後、自然乾燥させてください。

5. 定期検査

レンズ装用開始日から1週間後、1カ月後、3カ月後、以降3カ月毎に、又は眼科医の指示に従って必ず定期検査を受けてください。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- (1) レンズを使用する前に必ず添付文書をよく読み、必要なときに読めるように保管してください。添付文書はホームページ内でもご覧になれます。www.menicon.co.jp
- (2) アレルギー疾患を有する場合は、有害事象が発生する危険性が高まりますので眼科医に相談してください。

2. 不具合・有害事象

以下の不具合や有害事象が発生する可能性があります。

- (1) 不具合
 - レンズ：欠け、破れ、キズ、変形、変色、異物付着、気泡、異物混入
 - 保存液及び容器：液漏れ、液の変色・変質、破損、汚れ
- (2) 有害事象
 - 角膜潰瘍、角膜膿瘍、角膜穿孔、角膜浸潤、角膜びらん、角膜炎、角膜上皮ステイン等、角膜上皮障害、角膜浮腫、角膜血管新生、結膜炎、結膜下出血、虹彩炎、麦粒腫、マイボーム腺炎、霰粒腫、眼瞼下垂、調節性眼精疲労、ドライアイ、角膜内皮細胞の減少

<装用時の症状と対処方法>

- ・ 眼の調子や体調が悪い場合は、無理に使用しないでください。
- ・ レンズの使用中、次のような症状が発生した場合は対処方法をお試しください。症状が続く場合には速やかに眼科を受診してください。

症 状	対処方法
異物感、痛み、かゆみ、くもり、眼ヤニが多く出る、充血	・ レンズを確認し、キズや破損がある場合は、新しいレンズに交換する。 ・ 汚れがある場合は、レンズのこすり洗い、すすぎを行う。 ・ 装用時間が長すぎる場合は、装用時間を短縮する。
視力不安定、見えにくい、眼の疲れ	・ レンズの左右、裏表を確認し、レンズを正しく入れ直す。 ・ 装用時間が長すぎる場合は、装用時間を短縮する。
乾燥感	・ 数回まばたきをして涙を多く出す。 ・ ソフトコンタクトレンズ用の目薬を点眼する。

3. 高齢者への適用

高齢者で、自身でのレンズのつけはずしやレンズケア等ができない場合、家族の方等で補助してください。

4. 妊婦、産婦、授乳婦及び小児等への適用

- (1) 薬剤の服用や点眼が必要な方、妊娠、出産された方は、レンズの装用に影響を及ぼすことがありますので、眼科医に相談してください。
- (2) 小児にレンズを使用させる場合は、保護者の方等による指導監督のもとに使用してください。

5. その他の注意

- (1) レンズ紛失時及び装用中止時の対応として、予備レンズを携帯し、眼鏡と併用してください。
- (2) 化粧はレンズをつけてから、化粧落としはレンズをはずしてから行ってください。
- (3) レンズを取扱うときは、化粧品等がレンズにつかないようにしてください。
- (4) 装用中に使用する目薬は、防腐剤を含まないソフトコンタクトレンズ用の人工涙液をおすすめします。それ以外の目薬は眼科医の指示を受けて使用してください。
- (5) 水泳の際はレンズをはずしてください。
- (6) 海外渡航をされる場合には必要量のレンズ及び眼鏡を持参してください。長期間の渡航の場合には現地の医療機関を受診してください。
- (7) このレンズは煮沸消毒できません。
- (8) ▲マークがあるレンズでは、▲マークが眼の鼻側にあると視力が不安定になることがあります。
- * (9) 遠近両用及び遠近両用乱視用レンズの場合、単焦点のレンズと比べて見え方に慣れるまで時間がかかる場合があります。慣れるまでは十分注意して使用してください。
- * (10) 遠近両用及び遠近両用乱視用レンズの場合、眼鏡や単焦点レンズと見え方が異なるので、特に車の運転や機械の操作等は見え方に十分慣れてから行ってください。明るさが十分でない場所で近くが見づらい場合は、補助照明を使用してください。
- * (11) 遠近両用及び遠近両用乱視用レンズの場合、夜間の車の運転時、トンネル等で急激に明るさが変化した場合に視力低下が生じると、車の運転に支障をきたし、事故につながる恐れがあります。

【保管方法及び有効期間等】

- (1) 保管方法：直射日光及び凍結を避け、室温で保管してください。
- ** (2) 使用期限：レンズの使用期限はレンズの外箱と容器本体に記載されています。使用期限を過ぎたレンズは使用しないでください。
(例：☐ YYYY-MM=使用期限YYYY年MM月、又は ☐ YYYY-MM-DD=使用期限YYYY年MM月DD日)

【保守・点検に係る事項】

- (1) 消毒の方法：化学消毒
- (2) レンズケア：「<使用方法等に関連する使用上の注意> 3. レンズケア」の項を参照してください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

<製造販売業者>
株式会社メニコン
<製品に関するお問い合わせ>
メニコンお客様センター 0120-103109
受付時間/ 9:00～18:00
(日・祝日除く)



RD2MPBFPI006-230626TOR
000000YUK00.0